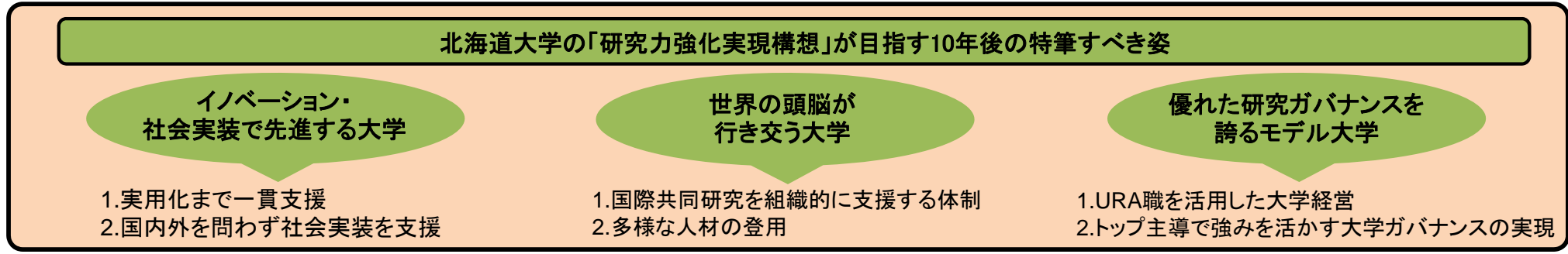
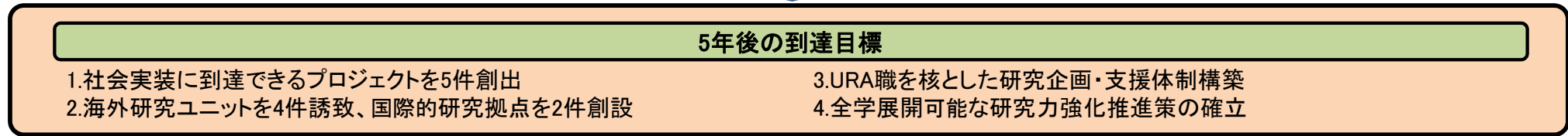


文部科学省「研究大学強化促進事業」北海道大学 ～世界の課題解決に貢献する北海道大学へ～

平成25年度配分予定額：200百万円

「グローバルな研究活動を通して世界の課題解決に貢献する北海道大学」を実現するために、研究戦略企画の専門職「URA職」の創設などの研究ガバナンス改革を通して、研究人材の多様化の推進、組織連携による国際共同研究の拡大、次世代型産学連携の推進等に取り組む。



北海道大学の研究活動の強みと弱み・課題

研究活動の強み・特徴

先進的な人材育成の取組(テニュアトラック、博士研究者キャリア育成)

研究人材の国際化(大学院生留学生数の拡大)

研究活動の国際展開の促進(海外派遣研究者数の増加)

学内に企業研究拠点を設置する組織対組織型の大規模産学連携を実施

研究活動の弱み・課題

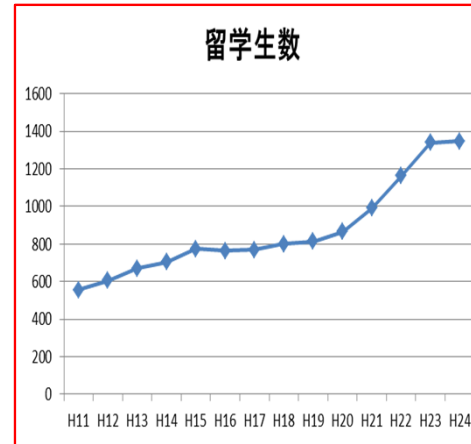
教員の多様化が不十分(若手・女性・外国人)

高被引用論文の割合および国際共著率が低い

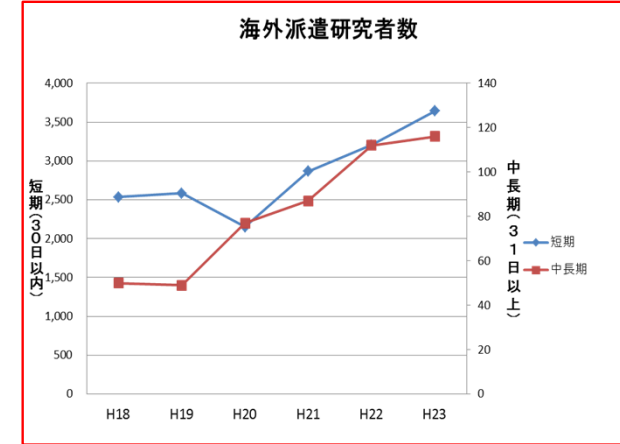
大型外部資金研究プロジェクトの件数が少ない

民間企業との共同研究は受入額が少額のものが多い

留学生数

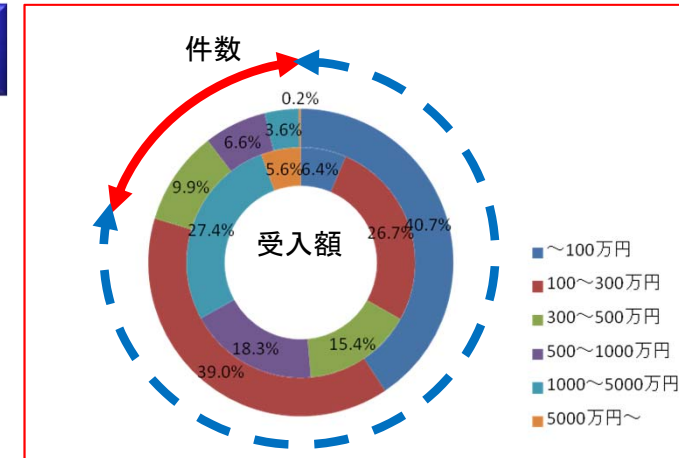


海外派遣研究者数



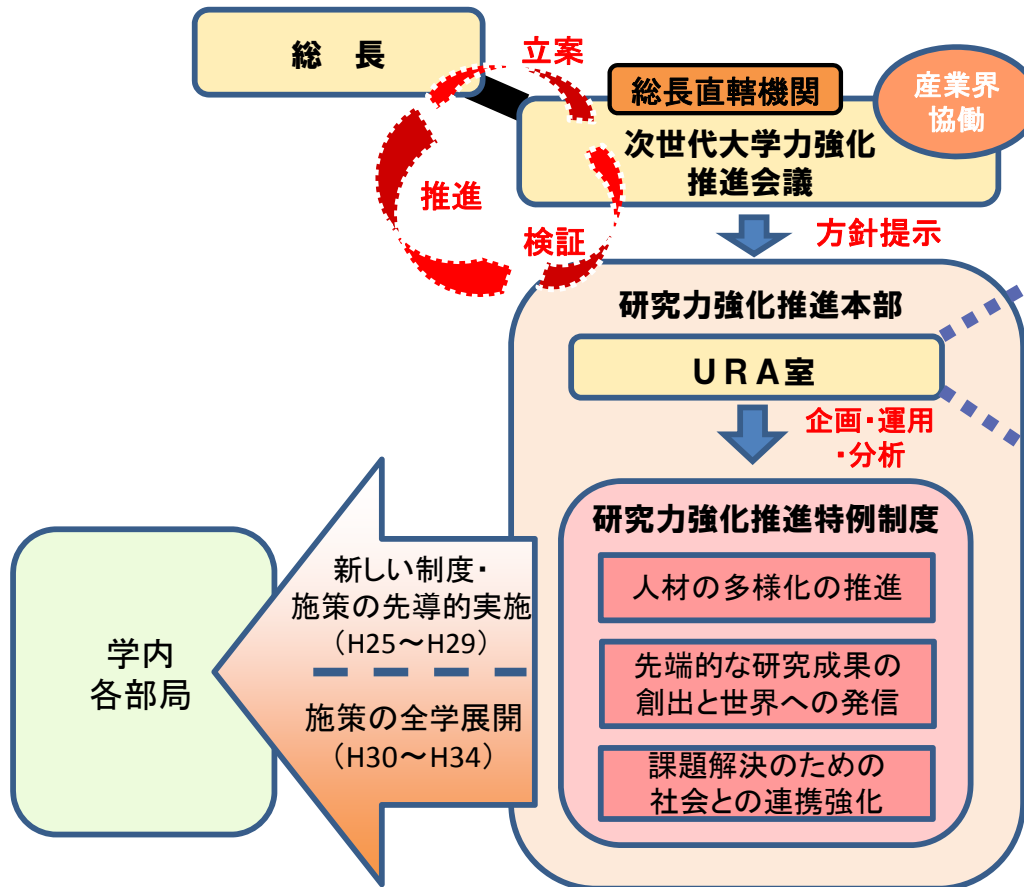
共同研究1件当たり 受入額別内訳(平成21～23年度)

共同研究件数の80%は300万円以下。大規模案件の拡大が課題。

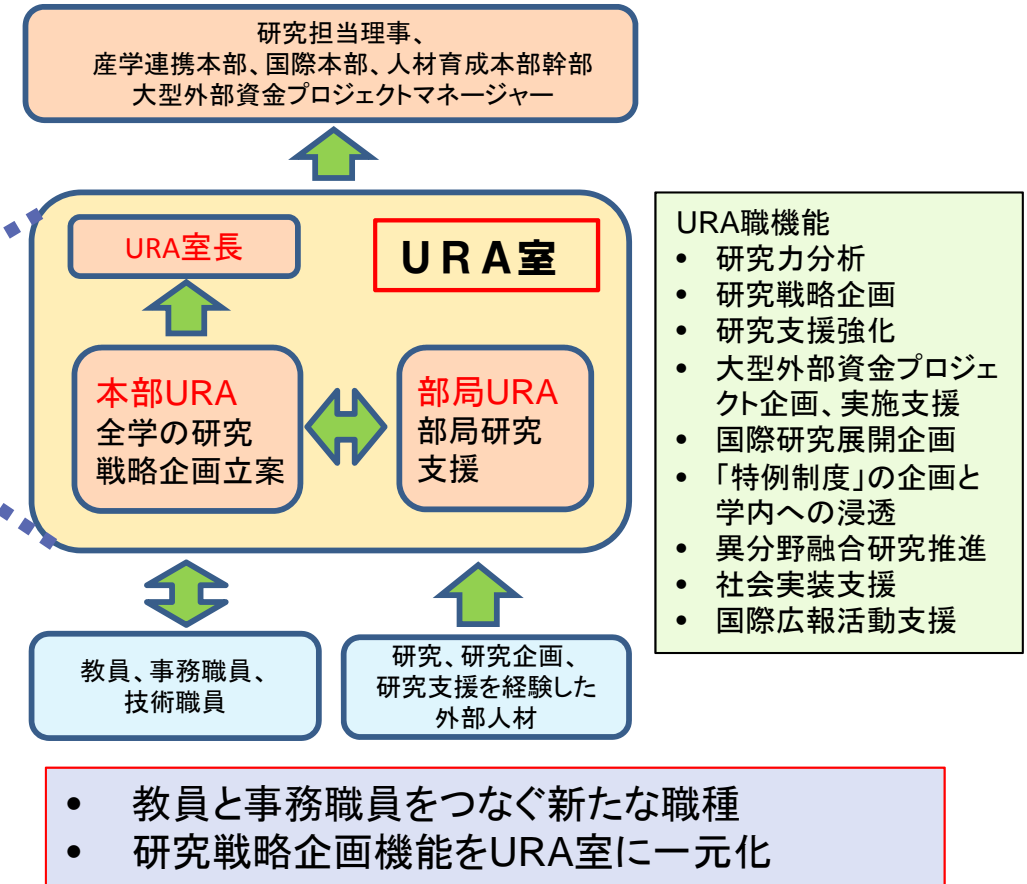


研究ガバナンス改革／研究戦略企画専門職「URA職」の創設

改革加速・定着のための推進体制



「URA職」の機能とキャリアパス



研究力強化の3つの柱による包括的な取組

1.人材の多様化(ダイバーシティ)の推進

外国人研究者の生活環境支援体制の整備

事務職員の海外大学での研修等実施による
国際的事務サポート体制強化

女性研究者支援制度の拡充

外国人博士研究者へのキャリア形成支援の強化

2.先端的な研究成果の創出と世界への発信

海外研究機関の拠点誘致、本学拠点の海外設置の推進

共同研究のための海外長期滞在の促進

3.課題解決のための社会との連携強化

産業界・社会のニーズ把握の推進、
組織対組織型産学連携のための体制強化

研究力強化に必要な制度改革

教職員への年俸制の導入

自然科学系教員の公募を国際公募を原則とする

優れた外国人研究者招へいのための
ダブル・アポイントメント制度の導入

優れた研究者に対する支援制度の整備

研究戦略企画専門職としての「URA職」を創設